

平成30年度第1回大和町総合教育会議 議事録

1 開催日時 平成31年3月28日(木) 午後3時から午後3時39分

2 開催場所 庁舎201会議室

3 議 題

(1) 平成31年度の教育分野における主な事業について

(2) その他

4 出席者

浅野町長、上野教育長、菊地教育長職務代理者、佐藤委員、若生委員、鎌田委員

5 会議に出席した事務局職員

総務課長、同総務法令係長、教育総務課長、同課長補佐、生涯学習課長、
公民館長

6 傍聴者 なし

7 会議の概要 以下のとおり

開 会

総務課長：それでは、定刻となりましたので、第1回大和町総合教育会議をはじめさせていただきます。

はじめに、本日の会議は、大和町総合教育会議運営要綱第4条により、原則公開することとなっておりますのでご承知願います。

開会にあたりまして、浅野町長から挨拶を申し上げます。

開会挨拶

町長：皆様、お疲れ様です。本日は、平成30年度第1回大和町総合教育会議をご案内差し上げたところ、皆様方にはお忙しい中、お集まりいただき御礼を申し上げますし、日頃より当町の教育行政の推進に対し格別のご尽力をいた

だいておりますことに、心から感謝申し上げます。

さて、総合教育会議は、町長である私と教育委員の皆様とが十分な意思疎通を図り、地域の教育課題などを共有するため実施するものであり、こうして直接委員の皆様と意見交換のできる貴重な機会と捉えております。

この総合教育会議につきましては、会議運営要綱により進めさせていただきますが、本日の議題は「平成31年度の教育分野における主な事業について」ということです。要綱では町長が議長となって進めることとなっておりますが、意見交換ということから総務課長が進行して進めさせていただきますので、よろしくお願いします。

総務課長：それでは先ほど町長からありましたが、意見交換ということで私のほうで進行役を務めさせていただきます。

議題(1)平成31年度の教育分野における主な事業について、を教育総務課長、生涯学習課長、公民館長から説明申し上げます。

議 題

(1)平成31年度の教育分野における主な事業について

教育総務課長：(資料に基づき説明)

生涯学習課長：(資料に基づき説明)

公民館長：(資料に基づき説明)

総務課長：続いて意見交換に移っていききたいと思います。総合教育会議は協議・調整の場と位置づけられ、幅広く自由な意見交換を行うこととされております。皆様からご意見がありましたらお願いします。

佐藤委員：来年度は65周年の準備年になると思います。資料には来年度の教育分野における事業が載っていますが、他の課ではどのような予定となっているのですか。

総務課長：平成31年度は記念事業の準備委員会を立ち上げて、各課からいろいろな意見を聞きながら進めていきたい。10年ごとに行う記念事業は大きく開催し、5年ごとの記念事業は少し規模を小さくして開催するという方針が何年か前に打ち出されたので、今回の65周年記念事業はそれほど規模の大きくないものとし

て実施することになると思われる。

鎌田委員：「夢と希望と志を語る会」について、我々教育委員は毎年聞いているので、よかった点、もう少し配慮しなければいけない点など分るのですが、事業を担当する学年の先生方は初めての対応となることが多いと思われるので、その趣旨をしっかりと学年の先生方にお伝えして、子どもたちが充実した時間を過ごせるような配慮をお願いしたいと思う。２点目ですが、生涯学習課長さんから今年度の文化講演会について、入場者がすごく多かったとのことですが、講師の人選ということがその成否に差がでてくるので、限られた予算だとは思いますが、町民のニーズを捉えながらご尽力をよろしくお願いします。３点目としまして、宮床歴史の村の修繕を予定されていますが、今の落ち着いた雰囲気の状態というものをしっかりと把握していただいて、今の風情が損なわれることのないようにお願いします。

教育総務課長：「夢と希望と志を語る会」は確かに毎年担当の先生が替わるということで、初めてこの事業に参加する先生もおりますので、希望があれば前の年の映像などを学校に貸し出しをして見てもらいながら、全体の雰囲気や内容を理解してもらいながら、児童生徒の指導にあたってもらいたいと考えております。

生涯学習課長：まず文化講演会につきましては、平成３０年度から講師の謝金を増額していただいております、講師の選択肢も広がったということもありまして、決定の時期を早くすればそれなりの方をお呼びすることができるということになっております。ただ、あくまで文化講演ですので、それにふさわしい講師をお呼びできるように頑張りたいと思っております。宮床歴史の村の修繕については、先ほど砂利敷きというお話しをしましたが、鎌田委員さんがおっしゃるようにあそこの景観を守ることが一番大事だと思っておりますので、ただの砂利ではなく少し見た目の良いものにしたいと思っております。一番良いのは、柵をまわすことだと思いますが、あそこに柵をまわしてしまうと風景なり風情が損なわれると思いますので、路面の改修ということで対応したいと計画をしたところです。

菊地代理：平成３１年度の教育分野の事業ということは、大和町の教育基本方針とリンクしていると思いますが、大きい柱の中にいじめの問題や最近のことでは虐待の問題がありますが、これらが事業には入っていないようですが、いじめや虐待の問題、いじめによる自殺の問題などが大和町では起きないことを願っておりますが、発生した場合に、最終的な対応は教育委員会になりますので、発生した時の組織としての対外的な対応マニュアルを作っておくことも必要と思われますが。

教育総務課長：いじめの問題につきましては、県の教育委員会の中でいじめ問題に対する手引きを作成しており、それに基づいて県内の小中学校は対応しているということになっております。町でもいじめ問題の対策連絡協議会として町内の小中学校の先生方、大和警察署、児童相談所などの関係機関の方々に集まっていただいて、情報交換や各関係機関の現況報告などが主な内容となっております。今のところ大和町では重大な事案というものは発生しておりませんが、団体生活を営んでいくうえで、いじめを100%無くすというのは難しいということもあるんだろうと思います。いじめが起きた場合は小さな芽のうちに摘み取って、大きな問題に発展しないうちに解決を図るということで、学校の先生方もアンテナを高くしながら子どもたちを見守っていただいている状況であります。今現在、対応のマニュアルはあらたまって作成はしておりませんが、体外的な対応は担当課長が行っている状況となっております。マニュアルについては、他団体の取り組み内容を参考にしながら、今後勉強をしていきたいと考えております。

若生委員：平成31年度にダイナヒルズ野球場の内野黒土入れ替えを行うということですが、宮床にある総合体育館のグラウンドも砂地がかなり強い状況であります。予算もかかると思いますが、スポ少で利用したり、大和町外の方も大会などで利用していますので、子どもたちが怪我をしないようなグラウンドでやらせてあげたいと思いますので、ぜひ検討していただき整備をお願いしたいと思います。

生涯学習課長：ダイナヒルズの野球場につきましては、今、委員さんがおっしゃいましたように、内野の土を入れ替える予定となっております。部分的な補修はおこなってきましたが、今まで大幅に入れ替えたことがなかったので、均すと石などが出てくる状況であり、外野の芝も盛り上がっており、内野と外野の境に段差があり、それを解消する意味合いもあり、手を加えたいと思っておりました。総合運動公園の多目的広場につきましては、真ん中に排水溝が入っており平らにはなっていない状況で、その部分は直接野球のグラウンドにはなっていない状況ではありますが、多少なりとも傾斜があったり、でこぼこしている部分もありますので、それを解消するように計画をしており、あくまでも多目的広場ではありますが、それを念頭に野球のグラウンドも3面取れるようには考えているところであります。

総務課長：そのほか何かご意見等はありませんか。無いようでしたら、(2)その他ということで、本日ご説明したこと以外で、ご意見等ありましたらお願いします。

佐藤委員：生涯学習課の事業で、今年2月に家庭教育サロンがあり、町長さんにお越しいただき若いお母さん方との交流会といたしますか、懇談会を実施させていただきました。インフルエンザの流行で参加者は少なかったのですが、お母さんたちは、町長さんと直接お話しできるということにとっても感激をしていました。今後もこのような機会をお願いしたいと思いますし、町長自身どのような感想をお持ちになったのかお聞きしたいと思います。

町長：懇談会に参加させていただき、思いのほか皆さんに喜んでいただけたと思っています。直接話しをしたい方がいるということを実感いたしました。このような機会を増やしていくということで、今後も呼んでいただければスケジュールの都合がつけばお伺いしたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

菊地代理：土曜学習のまほろば塾については、報告によれば非常に成績が上がっているということですが、学力の観点でいうと、3年生だけではなく、対象学年を下ろして実施してはどうですか。

教育長：この事業については、教育委員会のほうから町にお願いして子どもたちに環境を作ってあげたいということで始めたものであり、まずは教育委員会のほうで検討して進めてきたという経緯がありますのでそこはご理解ください

教育総務課長：土曜学習まほろば塾については、初年度はまほろばホールのみで行って、その後南部コミュニティセンターの町内2ヶ所に分かれて実施しております。例年参加者も増えている状況のなかで、まほろば塾を通して自分の夢、希望にかなった進学先の合格を目指して参加していただいております。下の学年まで対象者を拡げてはどうかというご意見ですが、町内には私的な学習塾もたくさんある状況であり、町内に学習塾がなくて遠くの塾に通っているというのであれば、町が中心になって行うことも非常に効果があるとは思いますが、民間の学習塾が多くあるなかで対象を1年生、2年生と下げてしまえば、民間の経営の圧迫につながっていくものと思われます。まほろば塾については、ほとんどの費用を町が負担しており塾生の負担はテキスト代のみで行っております。塾生のほとんどは、いままで塾に通っていなくて、受験をひかえて自分の夢の実現のために町の塾に行っていかなければという生徒が大勢であります。そういう状況の中で、民間を圧迫することにつながってしまいますので、その件については慎重に検討していかなければいけないと考えております。

総務課長：他にご意見等ございませんでしょうか。議題につきまして皆さまからご意

見をいただき、ありがとうございました。そのほか皆さんから特になければ議題は閉じさせていただきたいと思います。

それでは、閉会の挨拶を上野教育長からお願いします。

上野教育長：今日は、総合教育会議を開催いただきましてありがとうございました。

町当局には、日々さまざまな形で教育行政に対し厚志をいただき感謝を申し上げます。子どもたちの教育について申し上げれば、新年度につきましては、教育用のコンピューター、各教室への１００％の整備、猛暑に備えてのエアコンの設置、外国語指導と活動のためのＡＬＴの倍増、そして、学習支援員や教育相談員の充実など多くの施策に対しご理解をいただき感謝申し上げます。今後も教育委員会としまして教育行政をしっかりと遂行してまいりますので、よろしくお願い申しあげまして閉会の挨拶といたします。今日はありがとうございました。

総務課長：以上をもちまして、大和町総合教育会議を終了します。ありがとうございました。

閉　　会

以上